

事業所名

こばんはうすさくら邑楽町教室
[児童発達支援]

支援プログラム

作成日

令和 8年 3月 11日

法人（事業所）理念		子どもたちの笑顔を増やし、意欲を引き出すことでお子様と保護者様が安心して生活できるよう支援していきます						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の自立の力を育て、未来へつなぎます。 ・ご家族様と共に、夢を咲かせます。 						
営業時間		月曜日～金曜日	8時	から	17時	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の環境に慣れるように、事前に体験をしたり、キーパーソンを作って安心できるようにしたりする。 ・椅子に座る、注視する、待つなどの「園生活で欠かせないスキル」を身につける。 ・身近自立に向けたトレーニング（トイレトレーニング、衣類の着脱、歯磨き、スプーンや箸の使い方、身だしなみなど）をする。 ・健康の維持、改善にむけて「食事」「睡眠」「運動」の大切さや必要性を伝えていく。 ・生活習慣や生活リズムの形成 ・生活スキルの獲得 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「からだ作り運動」を実施する。 ・個別のトレーニング（体の使い方、苦手な動き方などその子ひとりひとりに合わせた支援の実施） ・微細運動と粗大運動 ・感覚過敏に対する手立てを考える。 ・姿勢の保持 ・音楽に合わせて体を動かす時間を通して、歩く、走る、止まるなどの基本的な動きや、スキップや横歩き、リズムを付けた動き、用具を取り入れた動きなど応用的な動きを練習する。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・行動に着目した応用行動分析で子どもの行動を分析し、適切な行動へ導く。 ・こども一人ひとりの認知特性の把握と支援の実施。 ・褒めることで「正しい行動」を学べるようにする。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発語を促す（要求語の確立） ・口角模倣により、明瞭に発音できるようにする ・言葉のトレーニング ・状況に応じたコミュニケーションの取り方（個別に練習→小集団で表現） ・適切な言葉を「ハートの言葉」として、コミュニケーション方法を学んでいく。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、人との関わり方や距離感、状況や人に応じた関わり方、自分の気持ちの伝え方など、児童一人ひとりの苦手なことを取り上げて学ぶ。また、ロールプレイを通して繰り返し練習をする。 ・ルールのある遊びや勝敗のある遊び等を通して、友達との関わり方を学べるようにする。 						
家族支援		・保護者の要望に応じて家族支援（相談）を実施する。			移行支援		・保護者の要望に応じて、移行支援（必要な場所との連携）を実施する。	
地域支援・地域連携		・保護者からの要望により、園や行政、相談事業所などと連携をしてよりよい支援を目指す。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・メンター研修（若手の研修）の実施 ・キャリア研修（ベテランの研修）の実施 ・SSTの模擬授業 ・教材研究（指導員同士、管理者からのレクチャー） ・代表による研修 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会 ・夏祭り ・クリスマス会 ・夏は通常療育+プール ・製作活動 						

事業所名

こばんはうすさくら邑楽町教室
[放課後等デイサービス]

支援プログラム

作成日

令和 8年 3月 11日

法人（事業所）理念		子どもたちの笑顔を増やし、意欲を引き出すことでお子様と保護者様が安心して生活できるよう支援していきます						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の自立の力を育て、未来へつなぎます。 ・ご家族様と共に、夢を咲かせます。 						
営業時間		月曜日～金曜日	9時	から	18時	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の環境に慣れるように、事前に体験をしたり、キーパーソンを作って安心できるようにしたりする。 ・身辺自立にむけて、児童ひとりひとりの困り感へアプローチする。 ・健康の維持、改善にむけて「食事」「睡眠」「運動」の大切さや必要性を伝えていく。 ・生活習慣や生活リズムの形成 ・生活スキルの獲得 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「からだ作り運動」を実施する。 ・個別のトレーニング（体の使い方、苦手な動き方などその子ひとりひとりに合わせた支援の実施） ・微細運動と粗大運動 ・感覚過敏に対する手立てを考える。 ・姿勢の保持 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（国語：聞く、読む、話す、書く、文章読解など）（算数：四則計算、概念、文章問題など）を実施する。テストや日々の宿題の様子、担任の先生とのお話を通して、その子の苦手をキャッチし、興味をもって楽しく取り組めるようにする。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じたコミュニケーションの取り方について学べるようにする。 ・言葉のトレーニング（口の開け方、使い方、発音など）を実施する。 ・適切な言葉を「ハートの言葉」として、コミュニケーション方法を学んでいく。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、人との関わり方や距離感、状況や人に応じた関わり方、自分の気持ちの伝え方など、児童一人ひとりの苦手なことを取り上げて学ぶ。また、ロールプレイを通して繰り返し練習をする。 ・ルールのある遊びや勝敗のある遊び等を通して、友達との関わり方を学べるようにする。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望に応じて家族支援（相談）を実施する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望に応じて、移行支援（必要な場所との連携）を実施する。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの要望により、学校や行政、相談事業所などと連携をしてよりよい支援を目指す。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・メンター研修（若手の研修）の実施 ・キャリア研修（ベテランの研修）の実施 ・SSTの模擬授業 ・教材研究（指導員同士、管理者からのレクチャー） ・代表による研修 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムパーティー（4月：1年生を迎える会） ・さつまいも堀り（夏前くらい） ・夏休みのおでかけ（科学館や水族館など、その年によって異なる） ・クリスマス会（冬休み） ・初詣（冬休み） <p style="text-align: right;">など</p>						